

# Market Watching

発表日: 2020年11月2日(月)

## 米大統領選の注目点は“いつ決まるか”(マーケットウィークリー)

～新型コロナが猛威を振るう中、政治空白は致命傷～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月26日(月)	ドイツ: ifo景気動向指数 (10月)	92.7	93.0	93.4	ポイント
	米国: 新築住宅販売件数 (10月)	95.9	101.0	101.1	万件
10月27日(火)	米国: 製造業受注 (9月) ・耐久財	+1.9%	+1.0%	+0.5%	前月比
	・非国防資本財 (除航空機)	+1.0%	+0.7%	+1.9%	前月比
	米国: S&Pコアインフラケースシラー住宅価格指数・20都市 (8月)	+5.2%	+4.2%	+4.0%	前年比
	米国: FHFA住宅価格指数 (8月)	+1.5%	+0.7%	+1.0%	前月比
	米国: 消費者信頼感指数 (10月)	100.9	101.8	101.8	ポイント
10月28日(水)	豪州: 消費者物価 (7-9月) ・総合	+0.7%	+0.6%	▲0.3%	前年比
	・トリム平均	+1.2%	+1.1%	+1.2%	前年比
	カナダ: 金融政策委員会	0.25%	0.25%	0.25%	翌日物貸出金利
	ブラジル: 金融政策委員会	2.00%	2.00%	2.00%	政策金利 (Selic)
10月29日(木)	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (9月)	▲8.7%	▲7.6%	▲1.9%	前年比
	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (10月)	33.6	35.5	32.7	ポイント
	日本: 日銀金融政策決定会合・政策金利	▲0.10%	▲0.10%	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標	0.00%	0.00%	0.00%	10年物国債利回り
	ドイツ: 失業率 (10月)	6.2%	6.3%	6.3%	
	米国: 実質GDP速報値 (7-9月期)	+33.1%	+32.0%	▲31.4%	前期比年率
	米国: 新規失業保険申請件数 (10/24終了週)	751	780	787	千件
	ユーロ: ECB理事会・ECB主要政策金利	0.00%	0.00%	0.00%	
・ECB預金ファシリティ金利	▲0.50%	▲0.50%	▲0.50%		
10月30日(金)	日本: 労働力調査・失業率 (9月)	3.0%	3.1%	3.0%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (9月)	1.03倍	1.03倍	1.04倍	
	日本: 都区部消費者物価指数 (10月) ・総合	▲0.3%	▲0.5%	+0.2%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.5%	▲0.1%	▲0.2%	前年比
	日本: 鉱工業生産指数 (9月)	+4.0%	+3.0%	+1.0%	前月比
	日本: 住宅着工戸数 (9月)	81.5	82.3	81.9	万戸
	ユーロ: 実質GDP確定値 (7-9月期)	+12.7%	+9.5%	▲11.8%	前期比
	ユーロ: 失業率 (9月)	8.3%	8.2%	8.1%	
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (10月) ・総合	▲0.3%	▲0.3%	▲0.3%	前年比
	・コア	+0.2%	+0.2%	+0.2%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (9月) ・実質個人消費	+1.2%	+0.8%	+0.7%	前月比
	・PCEデフレーター	+1.4%	+1.5%	+1.4%	前年比
米国: シカゴ地区PMI (10月)	61.1	58.0	62.4	ポイント	
10月31日(土)	中国: PMI製造業景気指数 (10月)	51.4	51.5	51.5	ポイント
11月1日(日)	—				

## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.874	+3.1	+2.6	▲144.5	0.143	0.139	0.343
日本	0.040	+0.5	+2.5	+16.0	0.025	0.023	-0.001
ドイツ	-0.627	▲5.3	▲10.5	▲27.3	-0.567	-0.508	-0.472
豪州	0.828	▲2.8	+4.1	▲30.9	0.815	0.860	0.894
株価							
NYダウ	26501.60	▲6.5	▲4.6	▲2.5	27957	27691	26129
日経平均	22977.13	▲2.3	▲0.9	+0.6	23447	23131	21849
ユーロSTOXX50	2958.21	▲7.5	▲7.4	▲18.3	3184	3255	3187
上海総合	3224.53	▲1.6	+0.2	+9.7	3272	3309	3070
為替相場							
ドル/円	104.66	▲0.0	▲0.8	▲3.8	105.25	105.67	107.12
ユーロ/円	121.93	▲1.8	▲1.4	+0.5	123.77	124.45	121.16
豪ドル/円	73.56	▲1.6	▲2.6	▲2.1	74.98	75.82	72.80
ユーロ/ドル	1.1647	▲1.8	▲0.6	+4.5	1.176	1.178	1.131
商品市況							
WTI	35.79	▲10.2	▲11.0	▲35.0	39.61	40.58	36.68
金	1879.9	▲1.2	▲0.4	+25.6	1899	1926	1772

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/26~10/30) の金融市場は、米大統領選挙を前にリスクの取りにくい環境が続く中で、新型コロナウイルスの感染者数が欧米で増加傾向を強めていることが嫌気され、株価は下落基調を辿った。NYダウは前週末比▲6.5%、ユーロ STOXX50 株価指数は同▲7.5%となる一方で、欧米に比べて感染が落ち着いている日経平均は同▲2.3%の下落にとどまるなど、感染動向が株価に反映された。

今週のマーケットは、米大統領選挙の結果にすべての注目が集まると言っても過言ではない。市場が最も警戒するシナリオは、決着がなかなかつかずに、政治空白のまま景気対策が遅れるリスクだろう。コロナ禍の影響で、郵送による事前投票が過去最大規模になると言われている中、開票作業に時間がかかる可能性が極めて高い。そうしたなか、激戦州とされる地域では勝者がなかなか決まらず、過半数を獲得する候補者の判明に数日を要する可能性もある。郵送を選択した有権者は民主党支持者により多いと言われており、郵送分の開票が進むにつれてバイデン候補の票が伸びていく可能性が指摘されているため、トランプ大統領は早く打ち切りたいと考えているであろうことは明白だ。場合によっては、郵便投票分の有効性などを司法に訴える可能性もあり、拗れば長期化するリスクもある。米国内では新型コロナウイルスの感染拡大第3波に見舞われており、景気への悪影響が強まることに懸念されているだけに、結果判明までに時間がかかればかかるほど、株価の下落圧力は強まろう。なお、感染の影響については、第2波に見舞われている欧州では、経済活動を抑制する姿勢を徐々に強めており、景気の再失速が現実化しつつあり、欧州株やユーロ相場に影響が及んでいる。相対的に、日本のリスクの低さが浮き彫りとなるような環境になっており、米大統領選挙次第では円高が一段と進展するリスクには要注意だろう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

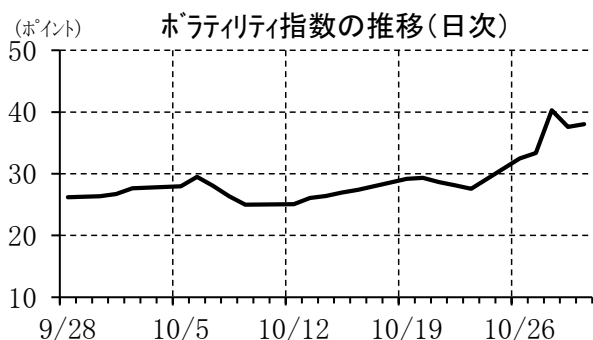
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月2日(月)	日本：新車販売台数(10月)・乗用車 中国：財新PMI製造業景気指数(10月) 米国：ISM製造業景気指数(10月)	★★★ ★★★ ★★★	— 52.8 55.6	▲16.0% 53.0 55.4	前年比 ポイント ポイント
11月3日(火)	豪州：金融政策委員会 マレーシア：金融政策委員会 米国：自動車販売台数(10月)	★★★ ★★★ ★	0.10% 1.75% 1,645	0.25% 1.75% 1,630	RBA政策金利誘導目標 翌日物政策金利 万台
11月4日(水)	米国：ADP雇用統計(10月) 米国：貿易収支(9月) 米国：ISM非製造業景気指数(10月)	★★★ ★★★ ★★★	+750 ▲696 57.5	+749 ▲671 57.8	前月差、千人 億ドル ポイント
11月5日(木)	ユーロ：小売売上高(9月) 英国：金融政策決定会合 資産購入プログラム 米国：新規失業保険申請件数(10/31終了週) 米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見	★★ ★★★ ★★★ ★★ ★★ ★★ ★★★	▲1.5% 0.10% 8,450 735 0.25% 0.00%	+4.4% 0.10% 7,450 751 0.25% 0.00%	前月比 翌日物貸出金利 億ポンド 千件 FF金利 FF金利
11月6日(金)	日本：毎月勤労統計(9月)・現金給与総額 日本：家計調査(9月)・全世帯実質消費支出 米国：雇用統計(10月)・非農業就業者数 ・失業率 ・時間あたり賃金	★ ★★ ★★★ ★★★ ★★	▲1.1% ▲10.6% +650 7.7% +4.5%	▲1.3% ▲6.9% +661 7.9% +4.7%	前年比 前年比 前月差、千人 前年比
11月7日(土)	中国：貿易統計(10月)・輸出 ・輸入	★★★ ★★★	+8.0% +7.5%	+9.9% +13.2%	前年比 前年比
11月8日(日)	—	—	—	—	—

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

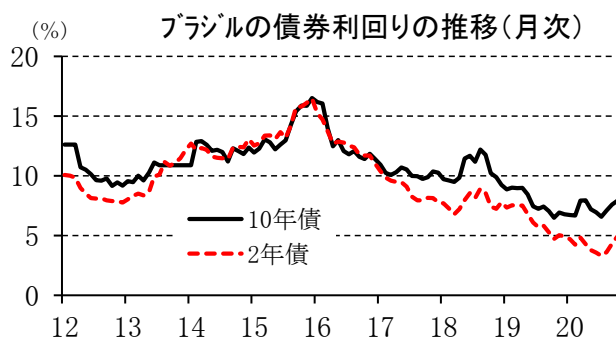
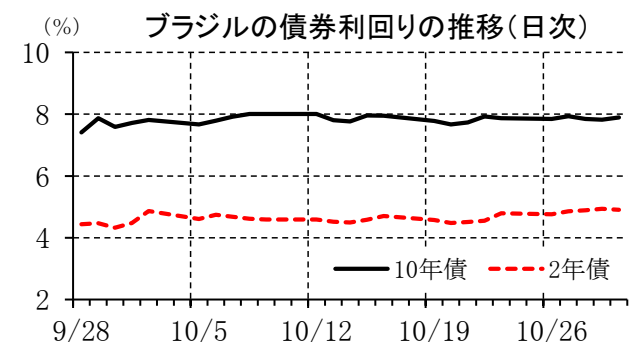
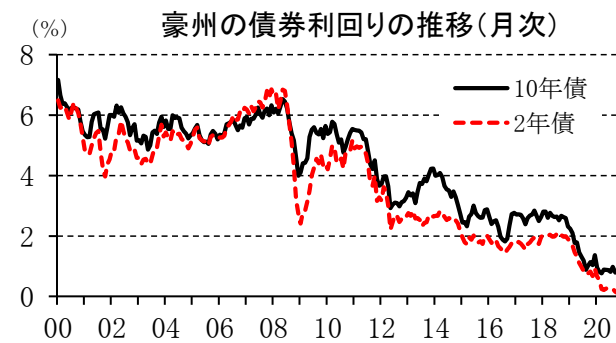
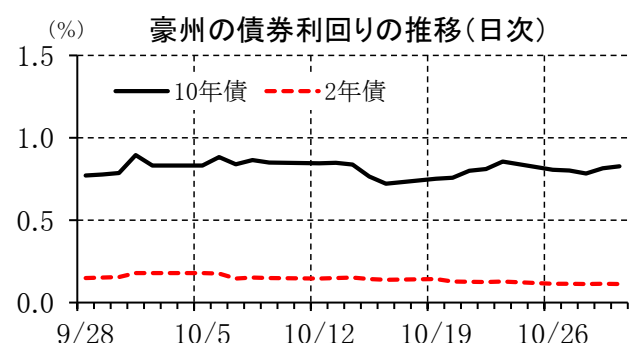
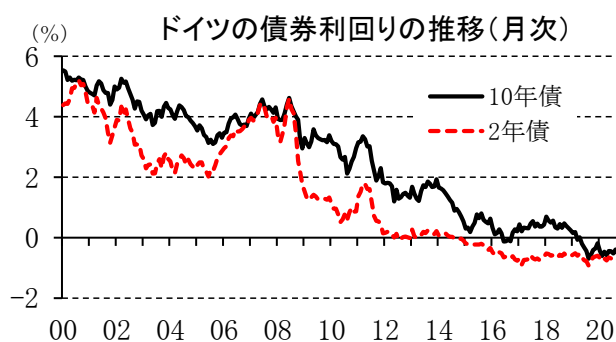
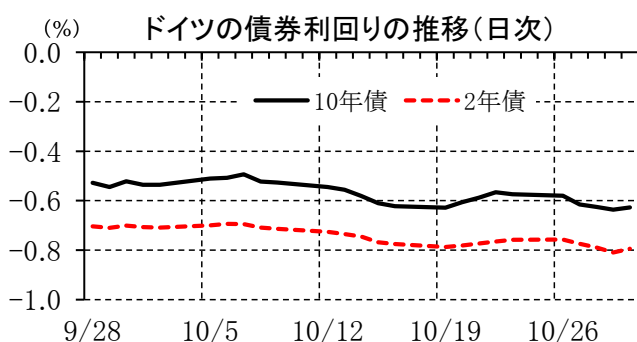
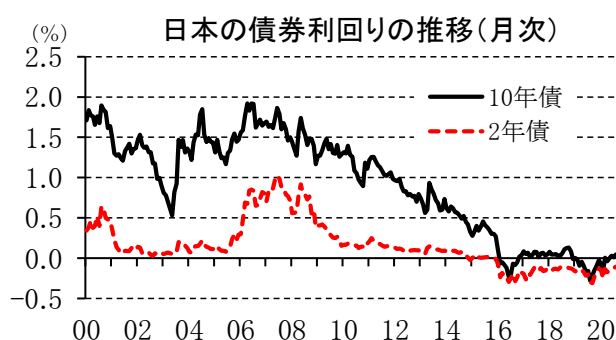
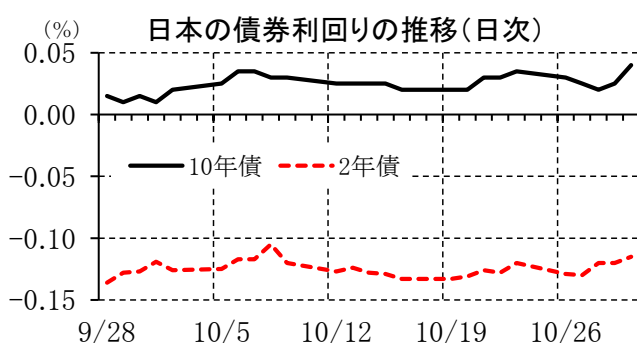
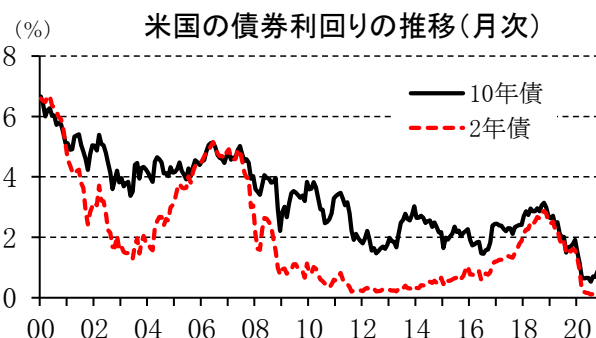
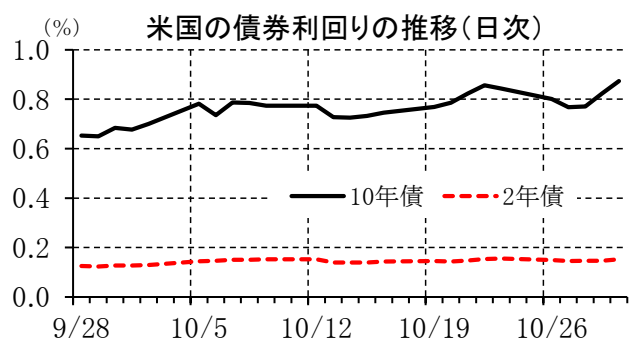
## その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
11月2日(月)	—	—	—
11月3日(火)	日本：祝日 米国：大統領選挙・議会選挙	★★★	—
11月4日(水)	日本：金融政策決定会合議事要旨(9月分) EU：財務相理事会 ユーロ：シュナーベルECB理事講演	★★ ★	—
11月5日(木)	EU：欧州委員会経済見通し	★	—
11月6日(金)	—	—	—
11月7日(土)	—	—	—
11月8日(日)	—	—	—

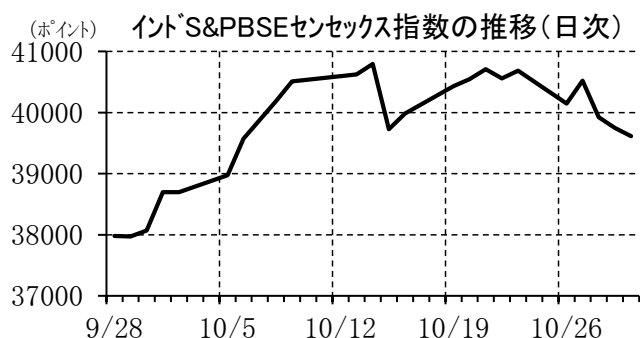
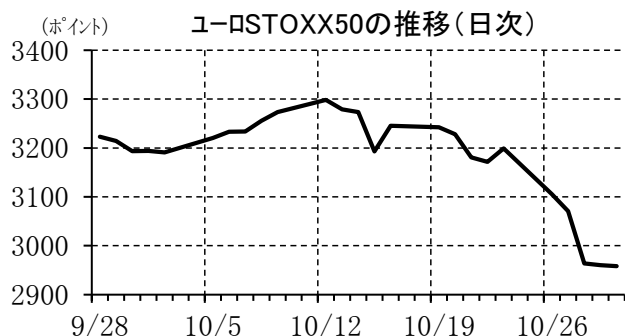
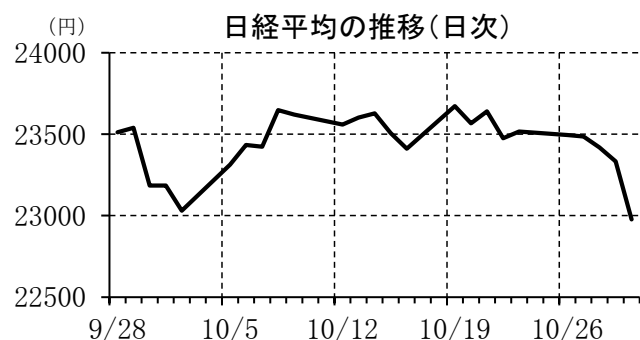
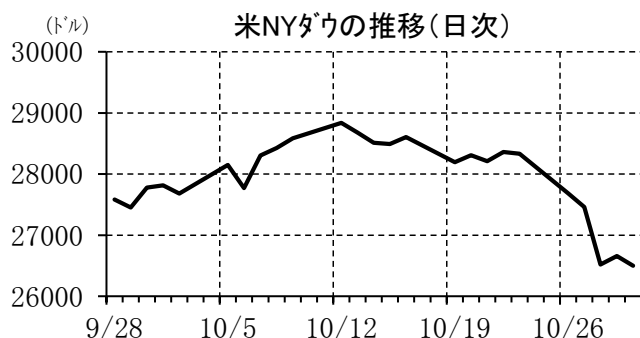
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



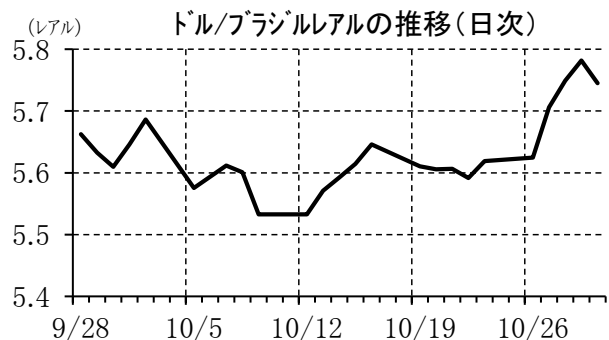
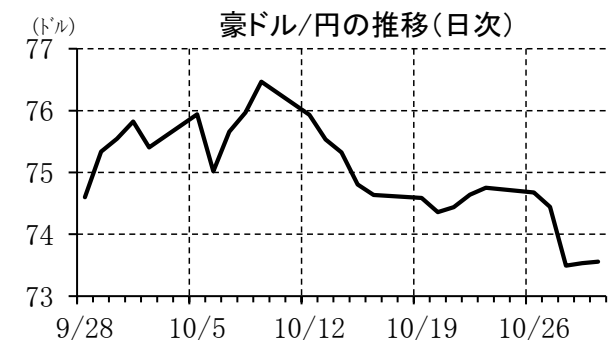
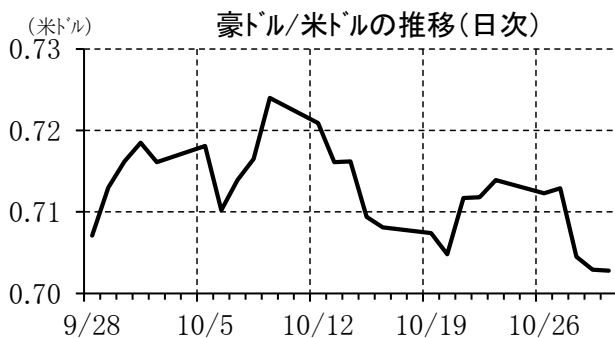
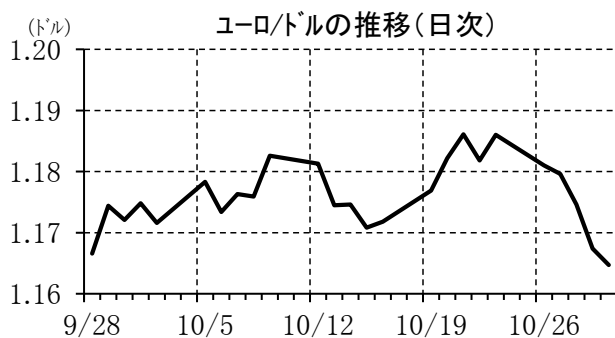
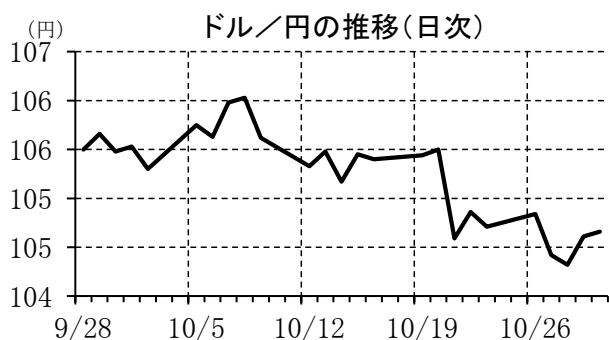
## 【債券利回り】



## 【株価指数】

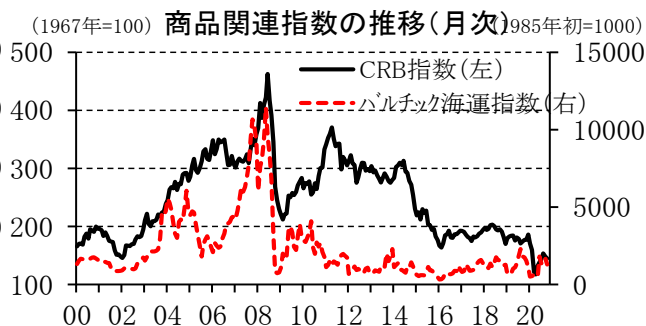
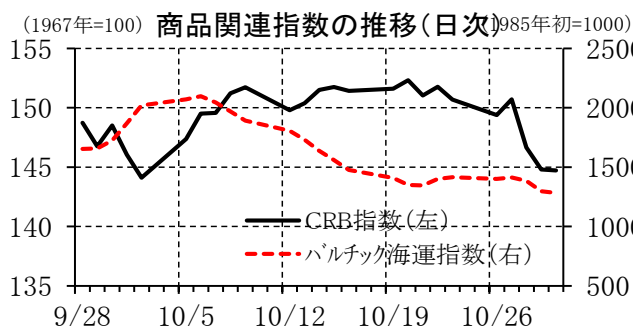
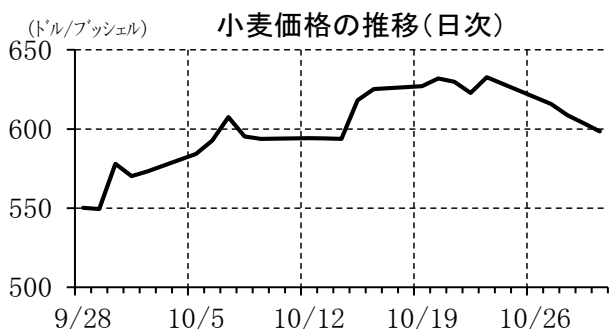
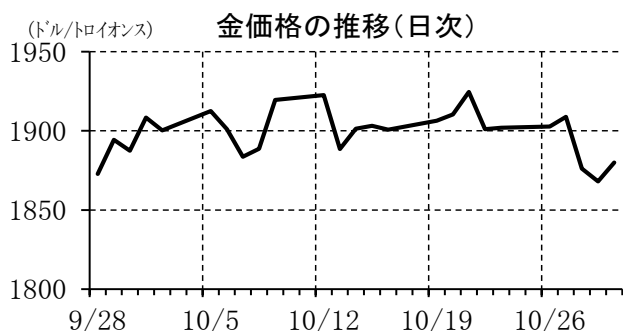
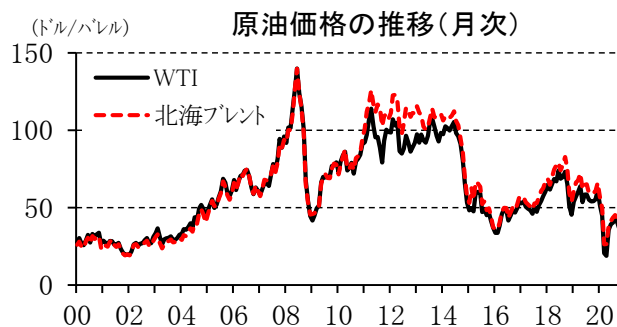
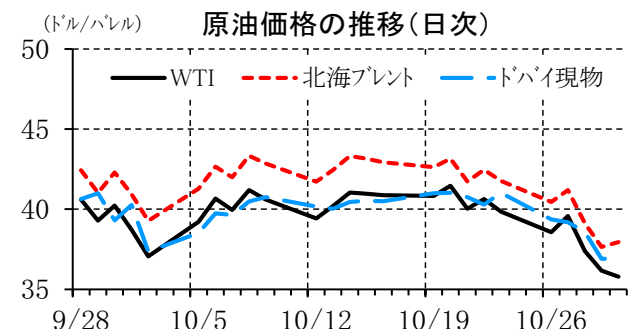


## 【為替相場】





## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。